

ついに、日本の各種入国制限が、ほぼ撤廃になり、カナダの消費者の間では、訪日旅行に対する期待値が、急速に盛り上がっている状況である。このレポートでは、カナダ人の海外旅行実施状況、今後の訪日旅行ポテンシャル、プロモーションに役立つ情報等について紹介したいと思う。

今年に入ってから、各国政府による各種制限の撤廃に際して、カナダ人の海外旅行も急速に回復してきており、今夏（7〜8月）のカナダ人の海外旅行実績は、新型コロナ

JNTO トロント事務所
豊田 健 所長

⑨1

カナダ市場の動向

トロントで開催された「Japan Festival CANADA 2022」



の新型コロナ流行により訪日旅行がストップしている状況でも、日本（および日本文化）への注目度の高さは変わらさず、例えば、今年に入ってからカナダ各地で開催された日本関連の各種イベントには、非常に多くの人の

このような状況からもぜひ皆さまには、今後カナダ市場への積極的な取り組みをご検討いただきたいが、その際の訴求に

訪日復活・拡大の条件整う

ナ流行前の約70%の水準（Conference Board of Canada発表）まで戻ってきている。その行き先については、一足先に各種制限が撤廃された米国、欧州、カリブ海等が中心で、残念ながら日本は大きく低迷していたが、これは当然、日本の入国制限の厳しさの影響であり、逆に言うと、入

は、現状、便数ベースで新型コロナ流行前の約70%の回復状況であるが、今後、さらなる復便、増便が予定されており、日本からの人気の高さも含めて、訪日旅行復活&拡大の条件は、確実に整っていると言える。

まず、カナダ人の訪日旅行に向けての「障壁」となっている事項を紹介すると、「新型コロナウイルス」を除き、「言語面の難しさを」「価格の高さ」「飛行時間の長さ」が三大障壁となっている。このうち飛行時間は難しいが、言語面、価格面（日本は円安も含めて格安！）については、うまくアピールをすることによって、十分解消が可能である。

また、今後希望する旅行スタイルについては「ゆったりとしたスケジュール（行程）（および）各種文化体験」の二つの希望が最も高かった。前述した「障壁」の解消と併せて、これらの「旅行スタイル」へのアピールが、今後のカナダ人集客に向けてのキーポイントだと考える。（月1回掲載）